

NO! リニア

No. 90
2015年12月22日
JR東海労働組合
リニア反対プロジェクト

リニア南アルプストンネル着工に抗議する!

会社は12月18日、リニア中央新幹線の南アルプストンネル（山梨県早川町）の工事を着工しました。国土交通省の認可がされて以降、会社は住民に対し説明会を行ってきました。しかし、説明会に参加された住民からは、「何ら質問に答えていない」「不安は払拭するどころか

住民の疑問は未解決のままだ!

リニアをめぐる動き

- 1962年・旧国鉄が磁気浮上式リニアの研究を開始
- 73年・国が東京-大阪を基本計画路線に決定
- 97年・山梨リニア実験線で行状試験を開始
- 2007年・JR東海が自己負担での建設を表明
- 11年5月・国が南アルプスを貫く直線ルートでの建設を指示
- 8月・JR東海が中間駅案を公表
- 13年8月・環境影響評価準備書を公表、駅の位置と詳細ルートを示す
- 14年6月・環境相が国土交通省に意見書
- 7月・国土交通省がJR東海に意見書
- 8月・JR東海が国土交通省にリニア工事実施計画を認可申請
- 10月・国土交通省が工事実施計画を認可
- 12月・JR東海がリニア建設着工
- 15年12月・山梨県でトンネル工事に本格的着手
- 27年・リニア東京-品川一名古屋間開業
- 45年・大阪までの全線開業

リニア 南アトンネル着工

まず山梨-静岡県境7.7キロ

2015年12月18日、山梨県早川町で、リニア中央新幹線の南アルプストンネル工事に着工した。この区間は、山梨県と静岡県の県境に位置する。トンネルの総延長は約7.7キロメートルで、最大埋設深度は約100メートルに達する。この区間は、山梨県と静岡県の県境に位置する。トンネルの総延長は約7.7キロメートルで、最大埋設深度は約100メートルに達する。

沿線住民不安の声も

「どんな影響出るか」

沿線住民不安の声も

「どんな影響出るか」

ニュースインサイト

2015年12月18日、山梨県早川町で、リニア中央新幹線の南アルプストンネル工事に着工した。この区間は、山梨県と静岡県の県境に位置する。トンネルの総延長は約7.7キロメートルで、最大埋設深度は約100メートルに達する。

逆に増大した」「再質問を受け付けないなど不親切だ」「建設ありきの説明だ」などという意見が多数出されていたのです。

JR東海は、住民の意見を無視した傲慢な態度を続け、強引に着工に踏み切った会社に対し、断固抗議します。そして、直ちに工事の中止を強く求めます。